



# 漂着クジラを活用する海の環境学習活動報告書

平成25年3月

特定非営利活動法人 宮崎くじら研究会

## 目次

要約	．．．．．	1
目的	．．．．．	1
方法及び結果	．．．．．	1
1 日南市に漂着したクジラ展とクジラ骨格組立体験学習・紙芝居作り	．．．	1
① 日南市に漂着したクジラ展	．．．	1
② クジラ骨格組立体験学習	．．．	1
③ 紙芝居作成	．．．	2
2 青島にやってきたクジラ学習会	．．．	2
① 講演	．．．	2
・ 宮崎県・青島におけるクジラの漂着について	．．．	2
・ コマッコウ属頭部の CT 撮影から観た聴部について	．．．	2
・ コククジラの生態について	．．．	2
② クジラ実物大模型の現地見学		
・ カズハゴンドウ、ユメゴンドウ、オガワコマッコウ実物大模型見学	．．	3
・ コククジラ骨格発掘現場で実物大模型見学	．．	3
3 付録		
内容 1 : 紙芝居脚本「油津の大鯨物語」	．．．	3
紙芝居画優秀賞氏名	．．．	6
内容 2 : 日南市に漂着したクジラ展 (ポスター)	．．．	7
内容 3 : 日南市に漂着したクジラ展 (配布資料)	．．．	8
内容 4 : くじら骨格組立体験と紙芝居作成のご案内 (ちらし)	．．	12
内容 5 : 日南市に漂着したクジラ展写真集	．．	13
内容 6 : 日南市に漂着したクジラ展新聞報道	．．	16
内容 7 : 青島にやってきたくじら学習会 (ちらし)	．．	17
内容 8 : 青島にやってきたくじら学習会 (配布資料)	．．	18
内容 9 : 青島にやってきたくじら学習会写真集	．．	22
内容 10 : 青島にやってきたくじら学習会新聞報道	．．	25
内容 11 : 青島にやってきたくじら学習会位置図	．．	27

## 要約

宮崎県日南市沿岸には、コビレゴンドウ、ザトウクジラ、スジイルカ、ミンククジラがそれぞれ1頭相次いで漂着した。クジラの持つ不思議について、骨格を直に見せることで関心を持ってもらうことを目的に、コビレゴンドウ、ザトウクジラ、スジイルカの骨格、平成17年8月、日南市風田浜漂着したコブハクジラの骨格標本を日南市生涯学習館ホールにおいて、平成24年7月23日～8月5日まで2週間、展示を行った。クジラ骨格展示に先立ち、平成24年7月22日、同ホールにおいてコビレゴンドウの骨格を用いてクジラ骨格組立体験学習を行った。また、日南市油津地区に伝わる、「まちをすくったクジラ」を元にした「油津の大鯨物語」の紙芝居を日南市内の小学生により作成した。

青島の浜に漂着した有名なクジラ、カズハゴンドウ（昭和57年1月6日、119頭が集団漂着した）、オガワコマッコウ（平成6年2月10日、親子で漂着例等、8件の漂着があった）、ユメゴンドウ（平成19年7月、全国5例目となる2頭が漂着した）の他、コククジラ（北太平洋だけに生息くじらで、餌場はサハリン海域、繁殖は中国広東省、太平洋回りで回遊、途中、宮崎の加江田川河口に漂着した）の謎を学習した。コククジラが漂着した場所にて実物大模型（8m）作りに挑戦した。

## 目的

近年、日南市沿岸に平成22年8月、コビレゴンドウ、平成23年2月ザトウクジラ、同年3月スジイルカ、同年4月ミンククジラがそれぞれ1頭相次いで漂着した。このことから、日南市におけるクジラへの関心が高まりつつある。また、平成17年8月、日南市風田海岸に漂着したコブハクジラの骨格標本と共にこれらのクジラの骨格を展示し、クジラへの認識を高めることを目的とした。また、日南市油津地区に伝わる「町を救ったクジラ」をモチーフにした紙芝居を作成することを目的とした。

「渚の交番」では、秋季（10～12月）に青島砂浜海岸に漂着した多種のクジラを紹介するコーナーとクジラ骨格展示を行い、主として小学生、中学生を対象に青島に漂着したクジラを紹介、クジラを通じて海洋の環境、生物の多様性等について学ぶことを目的とした。

## 方法及び結果

### 1 日南市に漂着したクジラ展とクジラ骨格組立体験・紙芝居作り

#### ① 日南市に漂着したクジラ展（写真4～5）

宮崎県日南市沿岸には、コビレゴンドウ、ザトウクジラ、スジイルカ、ミンククジラがそれぞれ1頭相次いで漂着した。クジラの持つ不思議について、骨格を直に見せることで関心を持ってもらうことを目的に、コビレゴンドウ、ザトウクジラ、スジイルカの骨格、平成17年8月、日南市風田浜漂着したコブハクジラの骨格標本を、日南市生涯学習館ホールにおいて、平成24年7月23日～8月5日まで2週間、展示を行った。

日時：平成24年7月23日（月）～8月5日（日）

場所：日南市木山、日南市生涯学習館ホール（まなびピア）

展示物：コブハクジラ、ザトウクジラ、コビレゴンドウ、スジイルカの骨格標本、漂着時の写真、掘出し時の写真。

#### ② クジラ骨格組立体験（写真1～3）

クジラ骨格展示に先立ち、コビレゴンドウ骨格を用いてクジラ骨格組立体験学習を行った。

日時 : 平成24年7月23日(月)～8月5日(日)  
場所 : 日南市木山、日南市生涯学習館ホール(まなびピア)  
種類 : コビレゴンドウ

③ 紙芝居作成(写真6～9)

日南市油津地区に伝わる、「まちをすくったクジラ」をモチーフにした「油津の大鯨物語」の紙芝居を作成した。

日時:平成24年7月22日(日)午前10時～

場所:日南市木山、日南市生涯学習館ホール(まなびピア)

対象者:日南市内小学生43名

紙芝居指導:福岡市博物館 主任学芸員 鳥巢 京一

紙芝居指導補助:宮崎大学野生動物研究会会員6人

17枚の紙芝居画を描き上げた。画の裏面に脚本を貼り合わせ、1回の練習後、希望者で紙芝居を読み上げた。休憩時、油津に伝わる「くじら餅」を食した。

2 青島にやってきたクジラ学習会

青島の浜に漂着した有名なクジラ、カズハゴンドウ(昭和57年1月6日、119頭が集団漂着した)、オガワコマッコウ(平成6年2月10日、親子で漂着例等、8件の漂着があった)、ユメゴンドウ(平成19年7月、全国5例目となる2頭が漂着した)の他、コククジラ(北太平洋だけに生息くじらで、餌場はサハリン海域、繁殖は中国広東省、太平洋回りで回遊、途中、宮崎の加江田川河口に漂着した)の謎を学習した。

また、コククジラが漂着した場所にて実物大模型(8m)作り(写真10～20)に挑戦した。

期日 平成25年2月10日(日)

場所 宮崎市青島2丁目233「渚の交番」

・講演内容(写真21～22)

① 宮崎県、青島浜におけるくじらの漂着について

講師:NPO宮崎くじら研究会 栗田 壽男

内容:本県におけるクジラの漂着状況、特に、青島海岸の漂着が約3割を占めること。クジラの漂着があること。新鮮な内に発見されることが多く学術的に注目を集めている事などを講演した、

② コマッコウ属頭部のCT撮影から観た聴部と耳の役割について

講師:宮崎大学名誉教授 森満 保

内容:1月にコマッコウ属の頭部をCT撮影した。映像から下顎、耳石の位置、構造が分かり今後の解明に期待できること。また、クジラにとっての耳の役割を分かり易く講演した。

③ コククジラの生態について

講師:NPO宮崎くじら研究会 栗田 壽男

宮崎になじみがないコククジラの骨格が発見され、注目を集めた事例を紹介した。宮崎での発見後に、コククジラ的回遊経路に太平洋を通過することが定着した理由を講演した。

・クジラ実物大模型現地見学（写真 23～26）

- ① 青島に漂着した代表的なカズハゴンドウ、ユメゴンドウ、オガワコマッコウも模型を砂浜に漂着姿で再現した。模型だから軽量であるが、実際は、200～250kg あり運搬に大変な苦労があることを説明した。
- ② コククジラの発見現場で、発見時の写真、当時の報道記事を紹介した。体長 8m の模型をあらかじめ作製したものを見学した。コククジラの体表は、付着生物（フジツボ等）が付いていることが特徴で、模型にフジツボの貼り付け、色を塗りコククジラの姿を再現した。

#### 4 報道

- ・ 7月22日（日）：MRT 宮崎放送：クジラ骨格組立体験学習講座、紙芝居作り
- ・ 7月31日（火）：NHK 宮崎放送、日南市に漂着したクジラ展
- ・ 8月3日（金）：宮崎日日新聞、日南・串間版

#### 3 付録

##### 内容 1

あぶらつ おおくじらものがたり  
「油津の大鯨物語」

鳥巢京一

【前書】 [宮崎県日南市にある鯨の碑]

日南市油津（にちなんし・あぶらつ）に伝わる、大鯨（おおくじら）のむかし話（ほなし）です。油津の村には波戸（はと）の鼻（はな）に「人柱（とぼしら）さま」とよぶ聖地（せいち）があり、鯨（くじら）の霊（れい）を祀（まつ）る鯨魂碑（げいこんひ）があります。油津の漁師（りょうし）たちは、毎年5月の節句には、くじらの形をした餅（もち）を供え、豊漁（ほうりょう）を祈願（きがん）してきました。油津の人たちは、この餅（もち）を「鯨餅」（くじらもち）と呼んでいました。

① [日南市油津の海に姿を現した大きな鯨]

むかしむかし、そのむかし、毎年夏になると、日南（にちなん）の油津（あぶらつ）の海に姿（すがた）をあらわす、1頭（いっとう）の大きなくじらがおりました。

② [油津の浜辺にイワシが寄って上がるシーン]

この大きなくじらがやって来ると、浜辺（はまべ）に捕（と）りきれないほどのイワシを追い込んでくれるので、油津（あぶらつ）はとても栄（さか）えていました。

③ [海から鯨が、お伊勢参りをしているシーン]

この大きなくじらは、毎年海から、お伊勢参（いせまい）りを続けているくじらでした。

④ [ 鯨組に銚を打たれる おおくじら]

ところが、33回目のお伊勢参（おいせまい）りのとき、大鯨は運悪（うんわる）く、紀州熊野灘（きしゅう くまのなだ）の沖で、熊野（くまの）の鯨組（くじらぐみ）に追い込まれ、銚（もり）に突（つ）き刺（さ）されてしまったのです。

⑤ [鯨銚が1本刺さったまま逃げる 大鯨]

「ここで、ここで死んでなるものか！」

とつぶやきながら、銚（もり）が体に刺（さ）さったまま、大鯨（おおくじら）は歯（は）をくいしばって熊野灘（くまのなだ）から油津（あぶらつ）めがけて泳（およ）ぎました。

⑥ [ 油津の浜から村人たちが、心配そうに海を眺めているシーン]

大鯨（おおくじら）が傷（きず）ついたことなど、まったく知らない村人（むらびと）たちです。

海を見ながら、姿（すがた）を見せない大鯨のことを心配（しんぱい）しておりました。

⑦ [ 嵐で漁に出られない油津の漁船団]

いつもの夏とちがうこの年は、嵐（あらし）が何日（なんにち）も何日も続き、油津の村人たちは漁（りょう）ができず、

「このままじゃ、うえじにせんばねー」

というように、食べるものにもこまっておりました。

⑧ [ 油津の浜辺の近くで浮いたり沈んだりする大鯨]

ある日のこと。

村人たちは、浜辺に銚（もり）が突（つ）き刺（さ）さったまま打（う）ち寄せられている大きな鯨を見つけました。

それは、力をふりしぼり油津にたどり着（つ）いた、息（いき）もたえだえの大鯨でした。

⑨ [ 村人がみまもるなか息をひきとる大鯨]

大鯨は村人たちが見守（みまも）るなか、泳（およ）ぎついた油津の浜辺（はまべ）で、とうとう息絶（いきた）えてしまいました。

⑩ [油津の人たちが、相談しているシーン]

そこで村人たちは、この鯨をどうするか？話し合いをしました。

「どうするのが、いいかのー」

「どうするのが、いいかのー」

「海の恵みとしていただいてはどうじゃ！」

「そうじゃなー、それがいいのー」  
ということで、この鯨をありがたくいただくこうではないかということになりました。

- ⑪ [ 村人が鯨の尾羽に綱をかけ、浜辺に引き上げるシーン]  
そこで、村人たちは、鯨の尾に綱を結び付け、引き上げることにしました。  
「おい、いいか！引きあげるぞー！！」  
「ヨイサー、オイサー」  
村人たちは、大鯨を力を合わせて浜辺（はまべ）へ引きあげました。

- ⑫ [ 大鯨を解体していくところ]  
  
ひきあげられた大鯨は、村人によって解体されました。  
「こ、これは！！ どうしたことだー！」  
「赤ちゃんクジラじゃないか！」

この大鯨は、お腹（なか）に赤ちゃんクジラをやどしていたのです。

- ⑬ [ 解体した大鯨を村人が分けるシーン]  
まず、鯨は海の恵みとして、油津の人たちに分けあたえました。  
  
また、その話しを聞いて集まった近くの村人たちにも分けてあげました。

- ⑭ [村人たちが、石碑をたてるシーン]  
村人たちは、親鯨（おやくじら）の目玉（めだま）と赤ちゃんクジラを葬（ほうむ）り、  
供養（くよう）をしました。  
そして、「鯨魂碑（げいこんひ）」を建てることにしました。  
それ以来（いらい）、油津は豊漁（ほうりょう）がつづき栄（さか）えました。

- ⑮ [ 村人たちが「鯨魂碑」の前で供養をしている所]  
それから村人たちは、  
鯨の霊（れい）を漁業（ぎょぎょう）の神様（かみさま）としてあおぐようになり、  
毎年5月の節句（せつく）には、  
近くの村からよせられた餅米（もちごめ）をひき、餅（もち）をこしらえて、  
「鯨魂碑」に供えてきました。

いつの日からかこの餅（もち）は、「鯨餅（くじらもち）」と呼ぶようになりました。

[ 現在の石碑の遠景]

おしまい

(これが、「油津の大鯨（おおくじら）と鯨餅（くじらもち）」にまつわるお話です。)

註\*お伊勢参り：三重県の伊勢神宮にお参りすること。

\* 鯨組：鯨を捕る会社

\* 注連縄（しめなわ）：神祭具で神聖な場所の区画に張られる。

紙芝居画優秀賞氏名

金賞：日南市立飫肥小学校 1年 大井 菜摘さん

銀賞：氏名不明のため該当なし

銅賞：日南市立吾田小学校 1年 山下 璃人さん



金賞：日南市立飫肥小学校 1年 大井 菜摘さん



銅賞：日南市立吾田小学校 1年 山下 璃人さん

# 日南市に漂着したくじら展

ごっかくくおたて かみしほし  
くじら骨格組立と紙芝居をつくろう！

4種類のくじら骨格標本は7月22日～8月5日まで「まなびびあ」で展示します。

学習会では、日南市に漂着したクジラたちの骨格の組立体験をします。また油津に伝わる民話

「まちをすくったクジラ」の紙芝居をつくります。

1 学習会日時：平成24年7月22日（日曜日）

・くじら骨格組立 午前9時30分から10時30分

・紙芝居作成 10時40分から12時15分

2 学習会の場所：日南市木山2丁目4の44 日南市生涯学習センター まなびびあ

・でんわ 0987-23-3777

3 学習会定員：小学生40人

4 参加料：無料です。

5 申込方法：FAXで受付付けています

6 持参品：特に必要ありません。

7 申込・問い合わせ先

NPO宮崎くじら研究会 理事長 桑田 高男

TEL・FAX 0985-53-3798

携帯 090-8910-7239



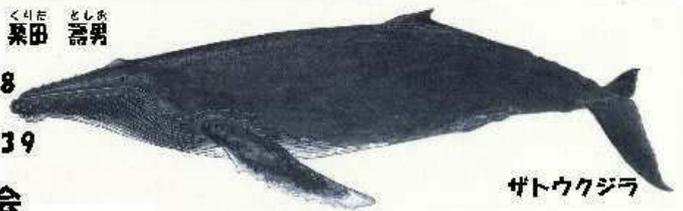
スジイルカ



コビレゴンドウ



コブハクジラ



ザトウクジラ

主催：NPO宮崎くじら研究会

後援：日南市教育委員会

協力：宮崎県総合博物館

日本財団 助成事業  
The Nippon Foundation

内容 3 : 日南市に漂着したクジラ展 (配布資料)

## 日南市に漂着したクジラ展



場所：日南市生涯学習センター まなびピア

期間：平成24年7月22日～8月5日

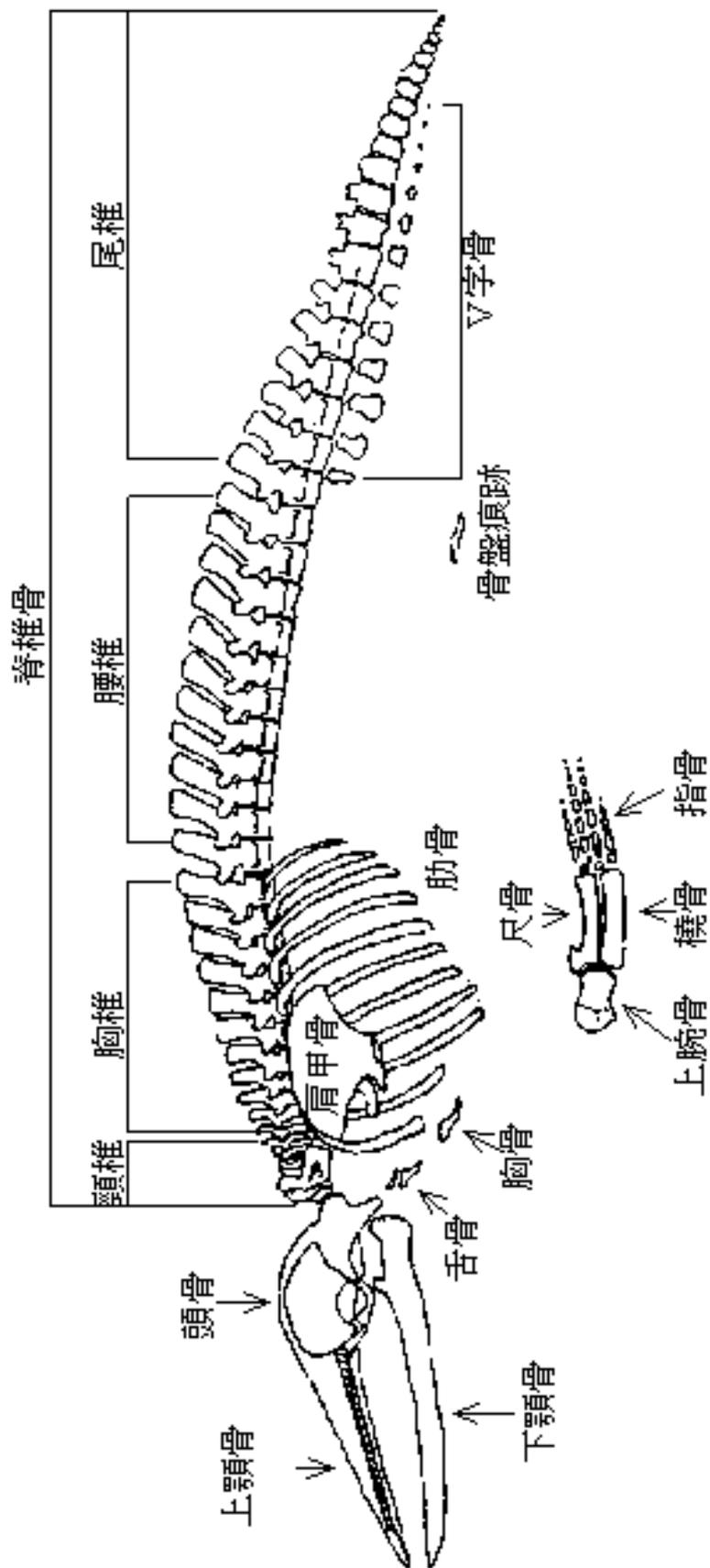
主催：NPO 宮崎くじら研究会

後援：日南市教育委員会

協力：宮崎県総合博物館

 **日本財団** 助成事業  
The Nippon Foundation

骨格のつくりと名称



1 ● コブハクジラ (英名 : Blainville's beaked whale) : ハクジラ亜目、アカボウクジラ科、コブハクジラ。

平成 17 年 8 月 5 日、体長 4.2m、♀、1 頭が日南市平山海岸にすでに死亡で漂着。漂着現場近くに埋設された。コブハクジラの漂着は本県では 3 例目。全身骨格標本は、1 例目。宮崎県総合博物館、NPO 宮崎くじら研究会が、地元ボランティア団体、「平山の明日を考える会」の協力を得、平成 19 年 12 月 2 日、埋設された骨格を掘出した。

外洋性。数頭の群れをつくる



平成 17 年 8 月 5 日、日南市平山浜に漂着した。 頭部の写真、白色の楕円形の傷痕。

2 ● コビレゴンドウ (英名 : short-finned pilot whale) : ハクジラ亜目、マイルカ科、コビレゴンドウ。

平成 22 年 8 月 10 日、体長 3.6m、♀、1 頭が日南市大堂津浜にすでに死亡で漂着。剖検するも死因不明。コビレゴンドウの漂着は本県で 1 例目。骨格標本も 1 例目。



日南市大堂津海水浴場南浜に漂着したコビレゴンドウ。

コビレゴンドウの頭部、丸く大きく、くちばしがない、のどから胸鰭にかけて灰白斑が見える

3 ● ザトウクジラ（英名：humpback whale）：ヒゲクジラ亜目、ナガスクジラ科、ザトウクジラ

平成 23 年 2 月 27 日、体長 8.5m、♂、1 頭が日南市宮浦海岸に漂着。本県では 4 例目。骨格は、門川町について 2 例目。沖縄県、高知県、小笠原諸島ではホエールウォッチングでよく知られている。



あおむけで漂着。現場はしけで近寄れない。



畝と大きい胸鰭でザトウクジラと分かる。

4 ● スジイルカ（英名：striped dolphin）ハクジラ亜目、マイルカ科、スジイルカ

平成 23 年 3 月 14 日、体長 2.45m、♂、1 頭が日南市小吹毛井海岸にすでに死亡で漂着。剖検するも死因不明。スジイルカの漂着は本県では 4 例目。骨格標本は 1 例目。



スジイルカの上半身、ストライプが鮮明特徴である。



波状岩での漂着。

内容4：くじら骨格組立体験と紙芝居作成のご案内（ちらし）

ごっかくくみだてだいけん かみしほいさくせい あんない  
**くじら骨格組立体験と紙芝居作成のご案内**



にちなんし ひょうやく くじら ごっかく くみだてだいけん  
 日南市に漂着したクジラたちの骨格の組立体験と

あぶらつ つたわるみんわ かみしほい みせ あうぼ ま  
 油津に伝わる民話「まちをすくったクジラ」の紙芝居をつくります。皆さんのご応募をお待ちしています。

## ごあんない

- 1 日時：平成24年7月22日(日曜日)  
 午前9時から受付ます  
ごっかくくみだて  
 ・くじら骨格組立 午前9時30分から10時30分  
かみしほいさくせい  
 ・紙芝居作成 10時40分から12時15分
- 2 場所：日南市木山2丁目44の4 日南市生涯学習センター  
 でんわ 0987-23-3777
- 3 定員：小学生40人。定員にない次第メ切ります
- 4 参加料：無料です。
- 5 申込方法：FAXで受け付けています
- 6 持参品：特に必要ありません。
- 7 申込・問い合わせ先  
 NPO宮崎くじら研究会 理事長 栗田 喬男  
 TEL・FAX 0985-53-3798  
 携帯 090-8910-7239



### ●参加申込書

保護者は○	お名前	学 校 名	学 年 (年齢)	御 住 所	電話番号

内容5：日南市に漂着したクジラ展（写真集）



写真1 クジラ骨格組立体験講座（コビレゴンドウ）



写真2 クジラ骨格と記念写真



写真3 ザトウクジラの頭骨を前に説明



写真 4 日南市に漂着したクジラ骨格展全景



写真 5 日南市に漂着したクジラ骨格展



写真 6 紙芝居作り



写真 7 紙芝居作りと指導



写真 8 紙芝居発表



写真 9 紙芝居発表

内容6：日南市に漂着したクジラ展新聞報道

新聞報道：平成24年8月3日、宮崎日日新聞；日南・串間版

日南 24.8.3

# クジラ骨格標本 迫力

## 5日まで パネル展示も



「日南市に漂着したクジラ展」(NPO法人宮崎くじら研究会主催)は5日まで、同市のまなひピアで開いている。クジラの骨格標本やパネルなどが展示され、夏休み中の児童らが熱心に観賞している。同市の海岸に漂着するクジラについて市民に知ってもらおうと開催。会場には2005年8月に平山海岸に漂着したコフハクジラ(体長4・2メートル)、10年8月の大堂津海水浴場近辺に着いたコヒレコンドウ(同3・6メートル)など4体の白い骨格標本が横たわっている。

このうち、昨年2月に宮浦海岸に上がったザトウクジラは体長8メートルもあるため、頭部だけでも迫力。来場した親子連れらは大きさに驚きながら骨格を観察。世界のクジラを紹介したパネルを参考に地元で上がったクジラについて学習していた。

同市大堂津2丁目、無職河野憲一さん(63)の孫で、熊本県から来ていた小5の満石健人(11)、小3の康(8)君兄弟は「クジラはやっぱりでかい。夏休みの自由研究に役立ちたい」と目を輝かせている。

コフハクジラなどの骨格標本を観察する子どもたち

# 青島にやってきましたくじら学習会



じつぶつだいもけい み い  
くじらの実物大模型を見に行こう！

4種類のくじらの模型を見ながら、くじらとおともだちになろう。

くじらがいの めいしき ひょうちやく くじら ちんしき せつれい  
学習会では、青島に漂着したクジラたちの不思議を学習します。

くじら のことをもっと知ってみよう。

1 学習会日時：平成25年2月10日（日曜日）

・午前9時から12時まで

2 学習会の場所：宮崎市青島2丁目233 渚の文番

・でんわ 0985-65-1055

3 学習会定員：小学生30人

4 参加料：無料です。

5 申込方法：FAXで受け付けています

6 持参品：特に必要ありません。

7 申込・問い合わせ先

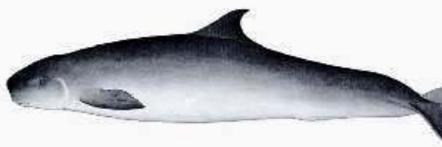
えんびーあーみやでん (じんせうがかい) りんぎやう くりせ としあ  
NPO宮崎くじら研究会 理事長 栗田 希男

TEL・FAX 0985-53-3798

けいだい  
携帯 090-8910-7239



カスハゴンドウ



オガワコマッコウ



ユメゴンドウ



コククジラ

主催：NPO宮崎くじら研究会  
協力：NPOライフセービングクラブ  
協力：宮崎大学野生動物研究会

 日本財団 助成事業  
The Nippon Foundation

○参加申し込み書

保護者○	おなまえ	学校名	学年	御住所	連絡先

内容8：青島にやってくるくじら学習会（配布資料）

## 青島浜のクジラ学習会 —青島に漂着したクジラから学ぶ—



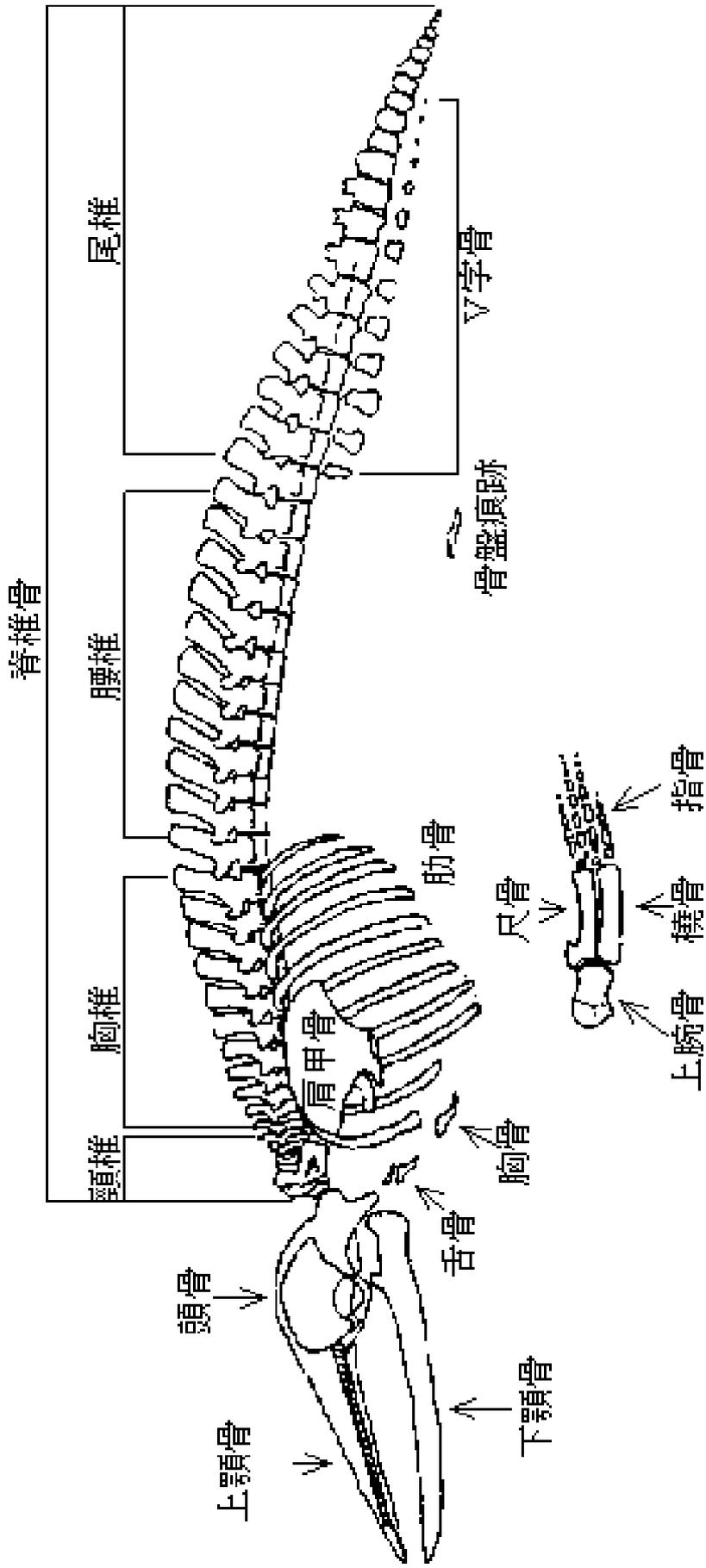
期日：平成25年2月10日

場所：宮崎市青島・こどものくに浜・加江田川河口

宮崎市青島2丁目233番地「渚の交番」

NPO 法人 宮崎くじら研究会

骨格のつくりと名称



## コククジラ



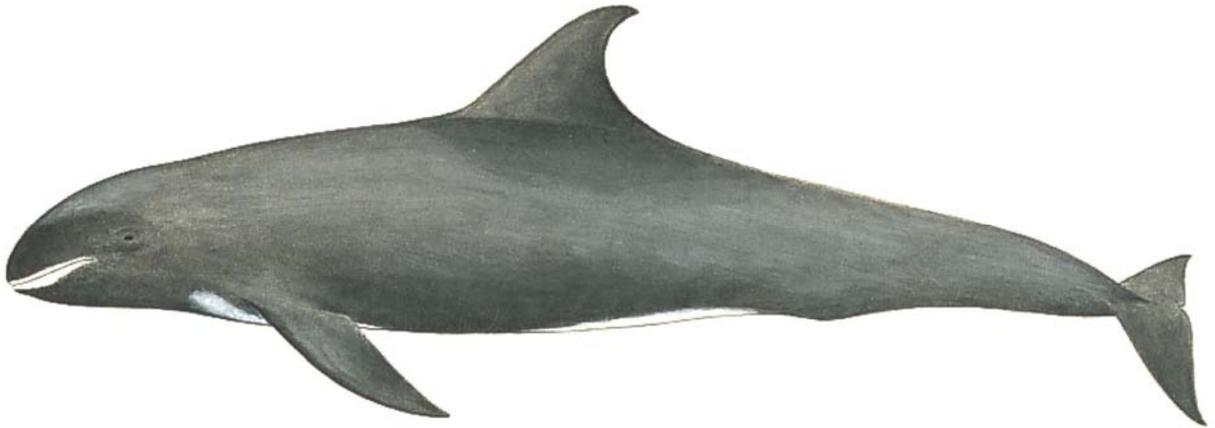
2002年(平成14年)3月、宮崎市加江田川河口左岸で骨格として発見された。当時、コククジラは、サハリンから日本海を経由して温かい海南島に回遊するとされていた。太平洋側宮崎で発見されたことに驚いた。その後、神奈川県、東京都にコククジラの回遊が見られ、サハリンと海南島の回遊に太平洋ルートが分かった。成長すると13~14mに達するヒゲクジラの仲間、北太平洋にのみ生息し、水深200m以下の浅い沿岸域に分布。

## ユメゴンドウ



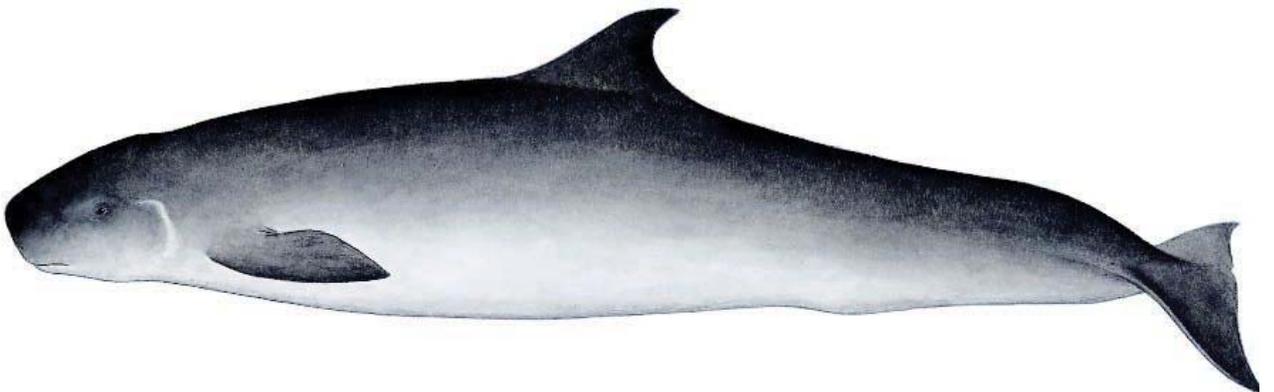
2007年(平成19年)7月7~8日、宮崎市加江田川右岸にあいついで2頭、漂着した。全国で5例目。熱帯・亜熱帯の海域に生息する小型のハクジラで成長すると体長は、2.6m、体重220kgほどになる。カズハゴンドウとよく似るが、頭がやや丸いのが特徴。

## カズハゴンドウ



1982年（昭和57年）1月6日、宮崎市こどもの国浜にカズハゴンドウが119頭、集団漂着した。イルカ救出作戦で大勢のボランティアが救出にあたった。このことが天声人語に掲載され宮崎のイルカが有名になった。熱帯・亜熱帯に生息する小型ハクジラで体長は2.7m、体重250kgに達する。

## オガワコマッコウ



1994年（平成6年）2月10～11日、宮崎市青島海水浴場にあいつで2頭、漂着した。体長の違いから親子と推定された。今回、紙芝居の主人公。オガワコマッコウの漂着は沖縄県、宮崎県に多い。小型のハクジラで、コマッコウに似ているが、体はより小さく体長は最大で2.7m、体重は200kg。熱帯・亜熱帯に分布する。

内容9：青島にやってきましたくじら学習会写真集

クジラ学習会展示実物大模型作り（県水産試験場研修館、平成24年9月23日～10月27日）



写真10 竹で中の芯と外枠作成



写真11 新聞紙、和紙で貼り付け



写真12 尾鰭作り



写真13 和紙を貼り、乾燥



写真14 3頭完成（手前からオガワコマッコウ、ユメゴンドウ、カズハゴンドウ）

実物大模型コククジラ作成



写真15 頭部切り出し



写真16 尾部、段ボール二枚張り合わせ作業



写真17 塩ビパイプと園芸用支柱で胴体から尾部、約6m



写真18 頭部より尾部を見る、高さ約1m



写真19 頭部と胴体、フジツボを付着



写真20 吻部から口裂後端にチョークで印



写真 2 1 講演（耳よりな話）



写真 2 2 オガワコマッコウ骨格展示



写真 2 3 クジラ実物大模型で説明



写真 2 4 漂着現場でクジラ実物大模型で説明



写真 2 5 加江田川河口漂着現場でコククジラ実物大模型（体長 8m）で再現



写真 2 6 加江田川河口漂着現場でコククジラ実物大模型（体長 8m）で再現



模型に色を塗るなどしてコククジラが漂着した様子を再現する児童ら

宮崎日日新聞  
2013年2月25日  
青島版

# クジラ漂着再現

青島

「青島にやってきましたくじら学習会」は10日、宮崎市の青島海水浴場にある「渚の交番」であった。宮崎くじら研究会（栗田壽男理事長、25（69）が「青島一帯の砂浜に

人が主催。児童ら約30人が、日向灘を回遊するクジラの生態について学んだ。学習会では、栗田理事長は、カズハゴンドウやオガワコマッコウなどさまざまなクジラが漂着している」などと紹介した後、宮崎大医学部の森崎保名壽教授（82）がクジラ類の生態について講演。超音波の反響音を感じて餌の居場所を特定する仕組みを児童らに伝え「浜にいたクジラを解剖した結果、寄生虫で耳の神経が冒されていた。餌が捕まえられずに体力が落ちて波に流されてきた可能性がある」と解説した。

講演後、児童らは2002年に体長8メートルのコククジラの全身骨格が発見された加江田川河口に移動。同大学の学生がプラスチックの骨組みと黒い布で作ったおいた実物大模型に、フシッポをくっつけたり、白い絵の具で色を塗ったりして漂着した当時の姿を再現。その大きさを体感した。

参加した同市・国富小4年、鬼東大輝君（10）は「大き

さにびっくり。海の生物に興味があったが、クジラに耳があるなんて知らなかったと驚いていた。



巨大なコククジラの模型に色を塗る子供たち

2013.3.11  
毎日新聞  
クジラの不思議学ぶ  
青島で子供ら30人参加

「青島にやってきましたクジラの学習会」が10日、宮崎市青島であり、子供と保護者ら約30人が、日向灘を回遊するクジラの不思議な生態を学んだ。

沿岸に漂着するクジラの情報を集めるNPO法人、宮崎くじら研究会(栗田寿男理事長)が主催。会は設立後の06〜12年、県内で14種類37頭の漂着を確認し

ている。青島では02年3月、絶滅の恐れがあるコククジラの白骨死体が見つかった。頭骨も含めた全身骨格が見つかるのは貴重で、クジラを身近に感じてもらおうと企画した。子供たちは「渚の交番」でクジラの生態を学び、コククジラが漂着した加江田川河口に移動。子供たちは約8畳の実物大模型に、コククジラの特徴であるフシツボを付着させたり、色を塗ったりしながら、大きさを体感した。参加した宮崎市の後藤匡葵君(5)は「大きな口を開けたら食べられちゃいそう。一緒に泳いでみたい」とほしゃいでいた。

【百武信幸】

内容 1 1 : 青島にやってくるくじら学習会位置図



図 1 青島浜に漂着したクジラの位置図

漂着クジラを活用する海の環境学習活動

発行日 : 2013年3月

編集者 NPO法人宮崎くじら研究会  
栗田 壽男

住所 〒880-0942 宮崎市生目台東2丁目22-1

電話 : 0985-53-3798

FAX : 0985-53-3798

Eメール : t\_kurita\_@0208ybb.ne.jp

URL : [http://outdoor.geocities.jp/t\\_kurita\\_0208/top.html](http://outdoor.geocities.jp/t_kurita_0208/top.html)

「この報告書は競艇の交付金による

日本財団の助成金を受けて作成しました。」